

# 新任助教のための能力開発支援システムの使用マニュアル

1. 聖路加国際大学看護教育学研究室の TOP ページより、上部右端の「研究参加者の皆様へ」をクリックします。



2. 看護系大学の新任助教のための能力開発ルーブリックの項目の「自己評価のシステム」をクリックします。



3. 聖路加国際大学ルーブリック評価システムに移動しますので、**事前にお送りしている**ユーザーネームとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。  
パスワードをお忘れの方は、**赤枠矢印**の箇所をクリックして、研究者にご連絡ください。

ログイン後の画面はメンティとメンターで異なります。

メンティの方は続けて【メンティ用画面】4.をお読みください。

メンターの方は p.6 の【メンター用画面】11.からお読みください。

## 【メンティ用画面】

4. ログインすると、画面上部に[メンティ]〇〇さん（あなたのお名前）と表示されます。ルーブリックを使用した評価を行う場合は、第1回の[回答]をクリックします。



5. はじめに回答日の入力をお願いします。ルーブリックの評価観点は Q.1～Q.38 までありますので、それぞれラジオボタンをクリックしてご自身の能力を評価してください。  
\*万が一、職位などの関係で不要な評価観点がある場合には、一番上の選択肢を選択して下さい。



6. ページの下部の説明です。

- 「自己評価の結果に対するリフレクション」の欄がございますので、記入をしてください（改行をせずに記入してください）。
- 「メンタリング記録【メンター/メンティ共有】」の欄は、メンターとのメンタリングで使用するので空欄でも問題ありません。
- 「次回評価日」は、次回評価する日付を入力してください。

7. 各ボタンの説明

- [新規登録]をクリックすると、一時保存ができ、再度編集が可能です（2回目の編集からは[新規登録]から[更新]になります）。
- [記録終了]をクリックすると、評価結果が確定されて編集ができなくなりますのでご注意ください。（注：[記録終了]もメンタリング記録のみ、メンター画面から編集が可能です）
- [新規登録/更新]や[記録終了]をクリックすると、自己評価した結果がメンター用画面から確認できるようになります。

聖路加国際大学 ルーブリック評価システム ようこそ [メンティ] 聖路加 太郎さん   マイページ   ガイドブック   お問い合わせ   ログアウト

自己評価の結果に対するリフレクション

文字数は280文字以内(改行無し)で記入をお願いします

メンタリング記録【メンター/メンティ共有】

**メンタリング記録【メンター/メンティ共有】は、  
メンターの画面からも編集が可能です。**

次回評価日

2023/05/31

評価選択に戻る 新規登録 記録終了

Copyright © 聖路加国際大学 ルーブリック評価システム. All Rights Reserved.

8. [新規登録]または[更新]をクリックした後は、以下の画面になり、[結果表示]をクリックすると評価結果の確認ができます。  
また[PDF]をクリックすると、[結果表示]で表示される画面がPDFで出力できます。



9. [結果表示]をクリックすると、以下の画面になります。評価結果は、6つのカテゴリごとに平均点が算出され、レーダーチャートで表示されます。  
評価結果は、右の画像のように過去3回分がまとめて表示されるようになります。4回目の評価では第2～4回、5回目の評価では第3～5回の結果が表示されます。



10. [記録終了]をクリックした後に、[回答]をクリックすると下の画面になります。  
 詳細な評価結果を見ることはできますが、編集はできません。

聖路加国際大学 ルーブリック評価システム ようこそ [メンティ] 聖路加 太郎さん [マイページ](#) [ガイドブック](#) [お問い合わせ](#) [ログアウト](#)

**ルーブリック評価 第1回目**

	質問	回答
Q1	職務における連絡・報告の対象と方法を理解し実践できる	【2】 支援を受けて適切な対象に適切な方法で報告できる
Q2	組織における自己の役割を理解し実践できる	【2】 自己の役割を理解し支援を得て動くことができる
Q3	委員会など大学運営において積極的に役割を果たす	【2】 大学運営上の役割を理解し、支援を受けて役割を果たせる
Q4	所属部署内外の教職員と自ら積極的にコミュニケーションをとる	【2】 必要なコミュニケーションが取れる
Q5	情報システム・機器を活用できる	【2】 支援を受けて活用できる
Q6	教育活動に必要な看護実践の知識・技術を主体的に学習できる	【2】 助言を受けながら不足する知識や技術を学習している
Q7	教育活動に必要な看護実践能力を有している	【2】 学生にとって専門領域の看護実践のロールモデルとなる
Q8	学内外に自己の職業上の問題を相談できる人的ネットワークを持つ	【2】 学内に相談できる人がいる
Q9	職業生活上の短期・長期目標を持つ	【3】 長期目標・短期目標を持っている
Q10	倫理的感受性を高めるための自己研鑽に取り組む	【3】 教育/実践における倫理的課題を説明でき、倫理的課題の対処につなげている
Q11	ディプロマポリシー（DP）やカリキュラムポリシー（CP）、学生のレディネスを理解し、担当科目の目標設定ができる	【3】 DPやCP、学生のレディネスを考慮して学習目標を設定できる
Q12	教育目的に適した授業設計ができる	【3】 目的に応じて異なる授業設計ができる
Q13	概念と現象を関連付けて学生が理解できるための教材を作成できる	【2】 支援を受けて概念と現象の関連がある教材を作成できる
Q14	学習活動で遭遇する現象を適切に教材化できる	【3】 学習活動で遭遇する現象を適切に教材化できる
Q15	概念と現象の関連について、論理的かつ臨場感をもって説明できる	【2】 支援を受けて論理的に説明できる

11. ルーブリックを使用した評価と面談は、入職時と1年間の終了時を含めて年間3回行ってください。それ以外はあなたのニーズに合わせてメンターと相談して、回数を設定してください。

## 【メンター用画面】

12. ログインすると、画面上部に[メンター]〇〇さん（あなたのお名前）と表示されます。



13. メンティがルーブリックを使用して自己評価を行い、[新規登録/更新]や[記録終了]をクリックするとメンターの画面は以下の表示になります。



14. [回答確認]をクリックすると、メンティが行った自己評価の詳細な結果が表示されます。

聖路加国際大学 ループリック評価システム ようこそ [メンター] 聖路加 花子さん マイページ ガイドブック お問い合わせ ログアウト

### ループリック評価 第1回目

質問	回答
Q1 職務における連絡・報告の対象と方法を理解し実践できる	[2] 支援を受けて適切な対象に適切な方法で報告できる
Q2 組織における自己の役割を理解し実践できる	[2] 自己の役割を理解し支援を得て働くことができる
Q3 委員会など大学運営において積極的に役割を果たす	[2] 大学運営上の役割を理解し、支援を受けて役割を果たせる
Q4 所属部署内外の教職員と自ら積極的にコミュニケーションをとる	[2] 必要なコミュニケーションが取れる
Q5 情報システム・機器を活用できる	[2] 支援を受けて活用できる
Q6 教育活動に必要な看護実践の知識・技術を主体的に学習できる	[1] 助言・指示に従って不足する知識や技術を学習している
Q7 教育活動に必要な看護実践能力を有している	[2] 学生にとって専門領域の看護実践のロールモデルとなる
Q8 学内外に自己の職業上の問題を相談できる人的ネットワークを持つ	[2] 学内に相談できる人がいる
Q9 職業生活上の短期・長期目標を持つ	[3] 長期目標・短期目標を持っている
Q10 倫理的感性を高めるための自己研鑽に取り組む	[3] 教育/実践における倫理的課題を説明でき、倫理的課題の対処につなげている
Q11 ディプロマポリシー (DP)やカリキュラムポリシー (CP)、学生のレディネスを理解し、担当科目の目標設定ができる	[3] DPやCP学生のレディネスを考慮して学習目標を設定できる
Q12 教育目的に適した授業設計ができる	[3] 目的に応じて異なる授業設計ができる
Q13 概念と現象を関連付けて学生が理解できるための教材を作成できる	[3] 概念と現象を関連付けて学生が理解できるための教材を作成できる
Q14 学習活動で遭遇する現象を適切に教材化できる	[3] 学習活動で遭遇する現象を適切に教材化できる
Q15 概念と現象の関連について、論理的かつ臨場感をもって説明できる	[3] 概念と現象の関連についてわかりやすく論理的に説明ができる

15. 回答確認の画面の一番下にはメンタリング記録を入力するための欄がありますので、メンティに対するメンタリングにご使用ください。

(注: メンティ画面で自己評価を確定しても、メンタリング記録は修正・削除が可能ですので、削除等しないようご注意ください)

入力が終わったら[更新]をクリックして、保存してください。

聖路加国際大学 ループリック評価システム ようこそ [メンター] 聖路加 花子さん マイページ ガイドブック お問い合わせ ログアウト

	開拓している
Q28 学内外の共同研究に参加し、研究の知識や技術を得る	[2] 学内外の共同研究に参加し、研究の知識や技術を学んだことがある
Q29 学会や研修会に積極的に参加し、学術研究の視野を広げる	[2] 学会や研修会に参加し、学術研究の基本的知識を得ている
Q30 学内の研究助成や外部の研究資金に積極的に応募する	[2] 支援を受けながら応募している
Q31 自大学の理念に基づき社会貢献活動ができる	[2] 指示された範囲で社会貢献活動に参加している
Q32 看護の社会的役割や特質を用いて社会に貢献できる	[2] 指示された範囲で社会貢献活動に参加している
Q33 自大学が地域社会のリソースとして活動することに貢献できる	[2] 指示された範囲で自大学の活動に参加している
Q34 企業や行政機関との連携事業に貢献できる	[2] 連携事業に、指示された範囲で参加している
Q35 学生相談の体制、教員の役割、責任範囲を理解して学生を支援できる	[2] 支援を受けながら学生を支援できる
Q36 国家試験受験に関わる支援ができる	[2] 支援を受けながら学生を支援できる
Q37 キャリア形成に関して学生を支援できる	[2] 支援を受けながら学生を支援できる
Q38 自己のアイデンティティと教員としてのアイデンティティの近接度合い	[複合] 5
自己評価の結果に対するリフレクション	

**メンタリング記録【メンター/メンティ共有】は、メンターの画面からも修正が可能なので、意図しない削除などにご注意ください。**

次回評価日 2023-05-31

[評価選択に戻る](#)
[更新](#)

Copyright © 聖路加国際大学 ループリック評価システム. All Rights Reserved.

16. [結果表示]をクリックすると、以下の画面になります。評価結果は、6つのカテゴリごとに平均点が算出され、レーダーチャートで表示されます。

評価結果は、右の画像のように過去3回分がまとめて表示されるようになります。4回目の評価では第2～4回、5回目の評価では第3～5回の結果が表示されます。



17. [PDF]をクリックすると、[結果表示]で表示される画面がPDFで出力できます。

ルーブリック評価			
第1回	回答	結果表示	PDF
第2回	回答	結果表示	PDF
第3回	回答	結果表示	PDF
第4回	回答	結果表示	PDF
第5回	回答	結果表示	PDF

18. ルーブリックを使用した評価と面談は、入職時と1年間の終了時を含めて年間3回行ってください。それ以外はメンティのニーズに合わせて、回数を設定してください。

システムの操作手順や評価方法について、ご不明な点がございましたらログイン後の画面から[お問い合わせ]をクリックし、研究者までご連絡いただけますと幸いです。